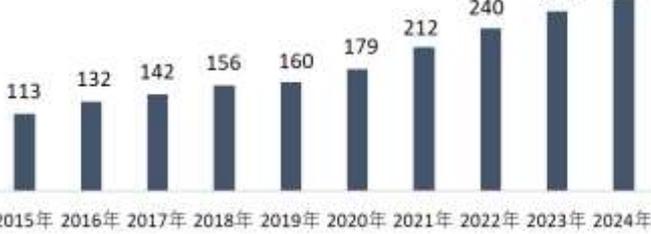


共にしあわせ産みだす党 日本共産党
市議団ニュース

第2144号 2025年06月22日

日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023

根室市内の管理不良空家の推移(件数)
(市消防本部による調査資料から)



任期最後の議会で市政課題を論議
根室市議会 6月定例会月議会 一般質問

6月17日、20日に改選前最後となる根室市議会6月定例会月議会が開催されました。17日に行われた日本共産党市議団の一般質問の一部を要約してご紹介します。

【橋本 竜一】一般質問

根室市の空家等の対策について

(質問)市の対策計画による成果はどうなっているか?

(市長)市の総合窓口が設置されて以来、現在まで67件の相談があり指導を行った結果、14件は所有者自らが必要な措置を講じた。

(質問)条例化など(今後の)市の空家等対策はどうなっているのか?

(市長)国の法改正をうけ、市の空家等対策計画の見直しを進め、市の施策を充実させるために条例制定に向けた検討を行っている。

(質問)今後のスケジュールは?(総務部長)詳細なスケジュールは示せないが、まず「特定空家等※」の認定に向けた市の基準の見直しが必要と考えている。

市営住宅の今後の整備について

(質問)高齢化が進み、ユニットバス、手すりや段差解消など福祉的な対策向上が求められている。

(市長)工場の騒音・振動、建物の構造の改修が必要で、入居者がいる市営住宅の工事は困難。現時点では新光洋団地のみで改修。今後は来年度の計画見直し時に入居者の意向を確認し、物理的に可能な限り居住環境に配慮した整備に努めたい。

市営住宅の家賃減免について

(質問)物価高騰のなかで、低所得者の減免制度を検討し直す必要がある。

(市長)公平性の観点から慎重な検討を要するものだが、社会情勢や他市町村の状況を参考に拡充の必要性を検討したい。

地域の医療機関や介護・福祉事業所への支援について

(質問)全国的に物価高騰や人材確保など経営が悪化している。国に対策の強化を求め、また市としても独自の支援策を検討すべき。

(市長)国へ地域医療の確保と充実の要望活動を行うとともに、医療・介護福祉現場の実情や関係者の声を聞く機会を増やししながら、必要な支援策を調査・研究する。

市立根室病院の経営改善に向けた取り組みについて

(質問)外部の専門家や有識者による「経営再建会議」を設置し、詳細な経営分析と対策の検討を行う必要があると考える。

(市長)院内の会議などで収益確保や経費削減に向けた取り組みを職員一丸で進めている。まずは着実な経営強化プランの実行と今後の決算状況等の検証を踏まえ、病院事業管理者(今年度から病院長が兼任)と連携し適切に対応する。



【鈴木 一彦】一般質問

物価高騰対策について

(質問)物価高騰の現状は悪化している。市として何らかの対策を立てるべき。

(市長)国の経済対策、物価高対策の方向性や国の交付金など財源対策を見極めながら的確かつ迅速な対応に努める。

(質問)国の動向を待たず、市独自の取り組みを行うべきではないか。

(市長)国民を守る国の責務であり対応が重要。それを補完する形で自治体の取り組みが一体的に行われることが望ましい。

JR花咲線存続に向けた取り組み

(質問)存続にむけた今後の方向性は?

(市長)国に存続を強く訴え、JRや沿線自治体と一丸に利用促進やコスト削減に取り組み、地球探索鉄道花咲線のブランド化により路線の維持存続につなげたい。

(質問)花咲線存続に向けた財源として北方基金の活用を求めているのか。

(市長)北方基金の事業は新規事業や高額な事業が採択されにくく、隣接地域が求める財源対策に至っていない。(隣接地域振興の財源対策について)新たな交付金制度も含め、国に働きかけていきたい。



鳥インフルエンザ対策について

(質問)野鳥観光にも影響が懸念される。対策が必要。地域の監視体制づくりの必要性を訴える声もある。

(市長)根釧地域の鳥インフルエンザの陽性確認はR6年82件(R5年25件)。道との連携を基本に、市独自でSNS等による注意喚起や、死亡野鳥の回収作業、検査結果に応じた監視体制の強化に努める。

不登校対策について

(質問)不登校の児童生徒が増加傾向にあり、体制の充実が必要。

(教育長)適応指導教室「ふれあいくらぶ」弥生」に本年度から子育てに悩む保護者の相談役でインクルーシブ教育推進員を配置。道教委と協働でメタバース技術を活用した不登校対策、道教育大と協働して大学生と不登校児童生徒のオンライン座談会など学習や相談が行える体制を構築する。また教職員の講演会や「学校の持つ全体の雰囲気」を科学的に調査・分析する学校風土調査の実施など、子どもこのころに寄り添った多様な支援体制の構築に努める。

(質問)不登校の高校生について、道教委と市教委による所管の違いはあるが、同じ「根室の子ども」であり、高校生に対しても相談、支援が必要ではないか。

(教育長)高校側も対応に苦慮していると聞く。心理学者とネットで相談するなど様々な対応を含め、根室の子ども達を支援する方法を考えたい。

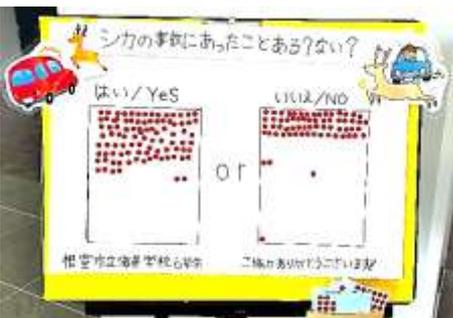
市ふるさと応援寄付金 昨年度は146億円に

6月定例会月議会の行政報告で石垣市長は2024年度の根室市のふるさと応援寄付金の受け入れ実績を報告しました。

件数67万2865件、金額146億9905万3403円。前年度から件数で1.26倍、金額で1.17倍に。関東関西の30歳代～50歳代の若い世代が多く、また毎年寄付して下さる方も20万人以上で3割がリピーターとのこと。

このほか企業版ふるさと納税は昨年度、市外企業8社から1,210万円が寄せられています。

昨年度、ふるさと応援寄付金は市が実施する151事業に約38億9000万円が充てられ、地域医療や子育て支援など幅広く活用されています。



根室市立根室中学校 根室市立根室中学校